

# 2023 年度事業報告書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所

## I 事業の成果

### 1) 新しい活動の展開

2023 年度の新しい活動として、河北潟中上流域での活動を展開する拠点の獲得と能登半島地震を受けての新しい活動の展開がありました。

#### 1-1) 吉倉研修館の活用

津幡町吉倉の古民家をリース契約で活用していくことになりました。流域の連携のための交流や、エコツアー、インターンシップに活用していきます。

#### 1-2) 能登半島地震の影響調査

能登半島地震により、河北潟周辺や干拓地で大きな被害がありました。これを受けて調査チームを作り現状調査を行っています。水環境学会の研究者も参加した取り組みを展開しています。

### 2) 組織づくりの課題

今期は、組織づくりの課題として、2017 年に採択された新しいミッション一覧の見直し進め方針を掲げておりましたが、昨年度に引き続き見直し作業を十分に進めることができませんでした。

財源確保、会員拡大、スタッフの強化においては、一定の成果がありました。

#### 2-1) 中期計画と短期目標を結びつけよう

方針に掲げていたミッション見直しのための会議は開催できませんでしたが、星稜大学のプロジェクトに当法人も参加する形での河北潟における将来ビジョンの検討が始まりました。

ミッション見直しにおいては、河北潟と流域の過去と現状を把握することが欠かせないことから、大野川と河北潟の塩分濃度等の現状や過去の汽水域をめぐる出来事についての調査研究を 1 年間継続することができました。

## 2-2) 基本財源の確保

寄付月間では約 10 万円と寄付額は多くはありませんが、寄付者を増やすことができました。また、会員を増やすことができました。

つり人社の支援プロジェクトとしてクラウドファンディングが行われました。2024 年度に継続され、63,200 円を寄付として受けました。全国釣振興会の呼びかけで会員等のみなさまから約 80 万円の米の購入によるご支援をいただきました。

## 2-3) 仲間を増やそう

正会員 2 名、サポート会員 2 名、ボランティア会員 1 名に入会いただきました。

常勤スタッフの募集を行ったところ、大学院新卒者の応募があり、採用することとなり、2024 年度は常勤スタッフ 3 名の態勢で活動をすすめていくことになりました。

## 3) 研究活動の課題

河北潟ビジョンに基づき再汽水化に関する基礎調査や水田の生物について市民参加型の調査活動、機関誌紙の発行を進めることを目指し、活動を行いました。

### 3-1) ビジョンプロジェクト

星稜大学の研究資金による河北潟の基礎調査が実施され、河北潟が抱える課題について検討されました。塩分測定のコロゲルローガーの設置を継続して、大野川から河北潟への海水流入の 1 年間の実態が分かりました。

地域循環共生圏プロジェクトは、担当者を中心に資料収集を行いました。

### 3-2) 市民参加型調査

市民参加型調査としては、流域のゴミ調査、干拓地の生物調査、生きもの元気米の市民と農家を交えた調査を実施しました。

### 3-3) 機関誌紙の発行

総合研究は、「河北潟総合研究」第 26 巻の原稿が集まり発行準備までが完了しましたが、年度内の発行に至っていません。編集委員会は開催できていません。

通信かほくがたは、vol. 29-3 まで発行しましたが、年度内発行予定の 29-4 は発行できませんでした。

## 4) 地域連携をつくる課題

従来からの河北潟周辺での連携の取り組みを継続強化することと、連携を流域に広げるために流域協議会をつくることを課題として取り組みました。

#### 4-1) 河北潟流域自然再生協議会

環境省による専門家会議の現地視察と意見交換会をおこないました。河北潟流域自然再生協議会への基礎自治体の参画表明がなく、準備会として活動を継続することとなりました。

#### 4-2) 流域連携の推進のための部会

準備会として2つの部会を設置する上で事務局として支えました。順応的管理部会はクリーン作戦実行委員会やまつり実行委員会で代替実施されました。地域活性化部会では花園町で地域の資源の掘り起こしが始まりました。

#### 4-3) ラムサール条約登録に向けた連携

まだ具体的な動きにはつながっていません。

### 5) 河北潟の環境保全の環を拡げよう（参加型の実践活動）

河北潟の環境保全に取り組む人の環を拡げるための活動として、観察会やシンポジウム、田んぼの活動を行いました。

#### 5-1) 観察会・シンポジウム

2月に、河北潟流域のゴミ調査結果やゴミ問題についてのシンポジウムを開催しました。3月に流域シンポジウムを開催し約100名が参加しました。

#### 5-2) 七豊米

田植え、観察会、稲刈りイベント、日常作業を実施を実施し、述べ70名（実人数で30名）が参加しました。ハッタミミズビオトープでの活動も展開しました。

#### 5-3) ジュニア河北潟流域レンジャー

「ジュニア河北潟流域レンジャー」と銘打ち、「第22回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」に採択され、5月～10月まで活動しました。

### 6) 自主事業

常勤スタッフを中心に、他の会員の協力のもと収益性の確保を進めてきましたが、事業規模は横ばいでした。実働に合わせた人件費を加えるとまだ赤字であり、収益性の確保が引き続き課題となっています。

#### 6-1) 生きもの元気米・その他の生きもの元気農産物（加工品を含む）

2023年産も、水稲のみでは場面積27,598㎡、ほ場枚数11枚で実施しました。

## 6-2) すずめ野菜

1年を通じて40品種ほどの野菜を生産し、生産した野菜はおもに金沢駅西広場でのマルシェにて金沢市内の住民に直接販売しました。生産活動には、農業体験を希望する人がほぼ毎回参加するようになっています。

## 6-3) 金曜マルシェ

4月～11月までの毎週金曜日開催しました。すずめ野菜では生産量が上昇したことにより売上がやや向上しました。毎回、サポーターが応援に来る体制になってきました。

## 6-4) ネットショップ

「河北潟湖沼研究所のお米屋さん」、「すずめ野菜」、「カホクガタ」の売上は大きな変化はありません。全体として出店手数料・クレジット手数料・取扱手数料などの固定費が大きく収益性は改善されていません。

## 6-5) 市民科学出版, その他出版事業

2冊程度の自費出版の受注を目指しましたが、受注はできませんでした。カレンダーは販売して黒字となりました。

## 7) 受託事業

特定非営利活動にかかる事業としてのグリーン・アースからの2つの委託事業、こなん水辺公園解説員派遣事業、新規事業としてのハッタミミズビオトープ管理、民間からの1事業は例年どおり実施しました。

### 7-1) 河北潟干拓地農村環境保全活動

グリーン・アース農地・水・環境保全組織より、農地・水保全管理支払交付金における農村環境保全活動に係る計画策定業務を受け、現地調査および生態系保全計画の提案をおこないました。

### 7-2) 県植生保全管理事業

継続して受注し実施しました。この中で湖岸植生断面図、及び湖岸植生図を作成しました。湖岸が壊れている箇所も見つかりました。

### 7-3) こなん水辺公園

4月～11月と3月に例年どおり実施しました。公園案内パンフレットは作り直す予定でしたが、まだ作成できていません。金沢市緑と花の課の担当者と協議し、パンフレット

の予算を計上できる見込みができました。

## **8) 助成金事業**

エフピコ環境財団から助成を受けました。また、ドコモ市民活動助成を新たに受けることができました。LUSH リファンド助成の活動を引き続きおこないました。

### **8-1) エフピコ環境財団**

河北潟流域のゴミの実態調査を市民参加型で行いました。シンポジウムを実施しました。

### **8-2) LUSH リファンドローカル助成**

紙袋の売上げを生態系や社会システムの再生プロジェクトに寄付する「Re: Fund」助成に採択され9月まで活動を継続しました。生きもの元気米の生き物による価値付けの仕組みを考えました。

### **8-3) ドコモ市民活動助成**

流域の連携の仕組みをつくる活動として流域協議会の発足に向けた取り組み、流域シンポジウムを実施しました。

## II 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
研究・広報・ 実践活動（基 本事業）	河北潟の自然環境等の研究、 広報誌の発行、通信活動等、研 究助成・環境保全の実践活動	2023.4 ~ 2024.3	河北潟及 び周辺	7	全国の研究 者、地域住民 等 110 万人	683
ドコモ市民 活動助成事 業	流域連携の仕組み構築	2023.4 ~ 2024.3	河北潟周 辺	30	地域住民等 10 万人	378
エフピコ環 境基金事業	ゴミ調査・啓発	2023.4 ~ 2024.3	河北潟及 び周辺	5	地域住民等 10 万人	1,000
LUS リファ ンド助成事 業	生きもの元気米の普及を通じ 持続可能なコミュニティの形 成	2023.4~ 2023.9	河北潟周 辺	10	地域住民等 10 万人	1,120
交流促進事 業	イベントなどによる活動の活 性化	2023.4~ 2024.3	河北潟周 辺	10	地域住民等 10 万人	22
こなん水辺 公園解説員 派遣事業	河北潟とこなん水辺公園の自 然について来園者らに解説	2023.4 ~ 2024.3	金沢市	6	金沢市民その 他 50 万人	488
地域連携事 業	干拓地における水辺と農地保 全活動	2023.4 ~ 2024.3	河北潟干 拓地	6	地域住民等 10 万人	2,362
出版事業	研究成果物の普及,出版企画等 の事業	2023.4 ~ 2024.3	全国	4	地域住民等 50 人	399

地域循環社会事業	環境保全米、循環型の野菜の生産拡大	2023.4 ~ 2024.3	河北潟周辺	6	地域住民等 1000人	5,745
----------	-------------------	-----------------	-------	---	----------------	-------

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額 (千円)
受託事業	調査受託等	2023.4 ~ 2024.3	石川県内	3	2,596